

2025年度 八洲学園高等学校 学校評価

【八洲学園高等学校 総合自己評価】

1 めざす学校像

教育理念

「すべての人が学ぶことの喜びと楽しさを知ることのできる場所であること」

八洲（やしま）とは、古事記にある日本の呼称のひとつですが、多くの島からなる国という意味でもあります。八洲学園は開学当初から、様々な年齢、様々な環境や状況の生徒さんを数多く受け入れてきた教育機関です。学園の名称である八洲（やしま）とは、今も昔も当学園の「すべての人に学ぶことの喜びや楽しさを知ってもらい、人生をより豊かにし、幸せになってもらいたい」という不変の想いの証でもあります。

教育目的

「社会への適応力を身につける」

「生きる力を育む」

高校生活とは勉強だけではありません。目の前に来ている自立の時を見据え、今までの自分自身、これからの自分自身をしっかりと受け止め、自己肯定し、自分を認め、他人を認め、そして他人からも認められ、ゆっくりと大切に自我を育む期間でなければなりません。八洲学園高等学校では、高校在学中に、それぞれの生徒さんの特長や優位な特性を伸ばし、コミュニケーション能力を中心に卒業後の社会で適応できる力を身につけることを念頭に教育を行います。

また、八洲学園高等学校は、座学での勉強だけでなく、体験学習や経験を大切に、実体験の中から得られる経験こそが、その後の人生にとってかけがえのないものになると信じています。通信制だからできないではなく、通信制だからこそできる、経験できる、体験できる教育内容を構築しています。卒業後に迎える「自立」に向けて、生きる力を身につけ、社会で活躍できる生徒を輩出することが八洲学園高等学校の大きな目的です。

2 中期的目標 (Plan)

以下の項目において、当校の教育理念に沿った教育目標を達成するために、学校内外にある資源を組織として活用し、学習活動の成果を検証して、その強みと弱みを明らかにし、学校教育全体の底上げを図る。

1 学校運営

(1) 教育課程、(2) 教職員連携、(3) 財務関係、(4) 情報公開、(5) 危機管理

2 教育内容

(1) 面接指導・添削指導等、(2) 情報教育、(3) 人権教育、(4) その他

以下の項目において、教員・教科間の連携状況、会議の有効性、学習指導及びカンセリング体制についての教職員による自己評価を、学力の向上と除籍防止への寄与の観点から分析を行い、学校の強みと弱みを明らかにして、改善の方策を検討・実施する。教職員の資質向上の観点から、学校運営、教職員の連携、校内外の研修等について自己評価を行い、日常的なOJT (On the Job Training) の活性化を図るとともに、研修体系、指導体制などの充実に努める。

3 生徒指導・支援

(1) 生徒指導、(2) 進路指導、(3) 生徒支援、(4) 教職員研修、(5) 管理

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】 (Do, Check)

自己評価アンケートの結果と分析 [2025年2月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>○教職員</p> <ul style="list-style-type: none">・実施日 2026年2月1日～2026年2月28日・対象者 常勤教職員 67名・期日までに全常勤教職員より回答あり・八洲学園高等学校 本校および通信教育連携施設毎に集計 <p>【分析】</p> <p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。2025年度も公開しているスクールポリシーおよび通信教育実施計画に基づいて教育活動を実践した。2025年度は概ね予定通りの行事や特別活動・各種授業が実施でき、スポーツ大会の実施もできた。また文化祭や修学旅行のなども実施することができ、積極的・活発的な教育活動を行うことができた。</p> <p>ここ数年で、PC やタブレットなどを使用したオンラインでの学習対応や生徒対応も、生徒の状況にあわせて効果的に各教職員が協力しながら取り組むことができた。</p> <p>教職員研修においては、進路指導部や生徒指導部を中心に、多様な状況の子どもたちに対応するための指導内容を、教職員が研究、発表することで教職員同士の情報交換を行うこともできた。</p>	<p>○学校評価委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・実施日 2026年5月22日 (金)・学校評価委員 校長、副校長、教頭、主幹、事務長、事務次長、教務部長、総務部長、進路指導部長、生徒指導部長・学校評価委員により学校評価委員会を開催し、2025年度学校評価結果について分析を行った。 <p>【意見】</p> <p>2025年度は教育目標を達成できているが、物価高上昇により学校で準備する各種教材や教職員の研究資料・教材等への影響、対応についての問題点の指摘が多くあった。なお、特に光熱水費の高騰に対し、問題意識を感じている教職員や学校関係者が多数いた。電気や水道など必要に応じて適切に使用していくが、消し忘れ、止め忘れを中心としたエネルギーの無駄遣いにならないような適切な使用方法を、学校全体で改めて実施していくことで意見が一致した。また、教育内容については、1、ICT教育機器の設備拡充 2、情報モラルに関する教育指導の充実 3、情報能力育成の促進、上記3点についての課題および問題提起が多くあった。特に2、情報モラルについては、SNSを中心とした生徒間トラブルが頻発している為、SNS使用時のルールや注意点を学校から積極的に発信、教育指導を行うことの必要性を感じている教職員や学校関係者が多く、2026年度に向けての取り組みを強化することで委員会では意見が一致した。</p>

【自己評価アンケートを踏まえ2026年度の改善点】 (Action)

1、オンラインによる学習および各種指導の充実について

ICT教育の研究およびオンライン機器の整備および拡充、またSNSの使用ルールを中心とした情報リテラシー教育に関する充実を図る。

2、物価上昇に対応する為、できる限り資源利用の無駄を減らし、ペーパーレス化などデジタル対応への移行を進める。

【八洲学園高等学校 施設別 自己評価】

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見および自己評価アンケートを踏まえた改善点】(Do, Check, Action)

施設名	分析	意見	改善点
堺本校	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。堺本校は全ての施設の中で在籍生徒数が最も多い施設である為、学習内容や教育内容についても、多様な生徒さんの状況にあわせた形で最も多くの実践ができています。	生徒数が多い為、施設（教室や廊下、トイレなど）の修繕を要する箇所が増えてきている為、定期的なメンテナンスを実施する必要があるとの意見が出た。	施設設備のメンテナンスにかかる予算を設定し、定期的な施設内点検を行う。
横浜分校	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。横浜分校は関東施設において堺本校に準じる位置づけである分校施設である。関東の施設の中で在籍生徒数が最も多い施設である為、学習内容や教育内容についても、多様な生徒さんの状況にあわせた形で最も多くの実践ができています。	同一施設内に、八洲学園大や保育所が併設されている為、施設間での連携を密に取り、大学との高大連携や保育所児童とのお世話交流などを実施し、在校生への教育活動の方向性を広げるべきとの意見が出た。	八洲学園大学や保育所の職員との連絡・連携を密にする。
大阪中央校	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。大阪中央校は大阪市内にある分校施設である為、関西の施設の中で交通の便が非常に良く多くの生徒が在籍している施設である。6F建ての建物である為、生徒の講堂で目の行き届かない場所もある為、教職員が連携して校内巡視など徹底している。	近隣に大阪城や史跡地が多くある玉造にある校舎なので、特別活動や地歴・公民などのスクーリング、その他特学習などで積極的に地域の情報を取り入れるべきとの意見が出た。	地域情報を把握し、教職員間でしっかりと情報共有を行う。
梅田キャンパス	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。梅田キャンパスは学習等支援施設である為、特別学習を中心に行う施設だが、一般学習を実施する本校、分校に在籍生徒が確実に出席できるように、各生徒のスケジュールや学習状況の進捗を教職員が連携してしっかりと管理・把握に努めている。また、梅田は大阪中心の繁華街である為、登校時の電車や通学経路など多岐に渡る。生徒・保護者が迷わないようにしっかりと誘導をする必要がある施設である。	特別学習において基礎学習や学び直しの学習に力を入れている生徒が多く、教職員の研修や研究の機会をもっと増やし、もっと充実した学習内容の提供をしたいとの意見が出た。	教職員研修制度を活用できるように、制度周知の充実を図る。
三宮キャンパス	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。三宮キャンパスは学習等支援施設である為、特別学習を中心に行う施設だが、一般学習を実施する本校、分校に在籍生徒が確実に出席できるように、各生徒のスケジュールや学習状況の進捗を教職員が連携してしっかりと管理・把握に努めている。三宮キャンパスは技能連携校であるみのり高等部と同じ建物で運営している為、みのり高等部の生徒との交流を図りながら、教育内容が混同しないように注意して運営をしている。	特別学習において基礎学習や学び直しの学習に力を入れている生徒が多く、教職員の研修や研究の機会をもっと増やし、もっと充実した学習内容の提供をしたいとの意見が出た。	教職員研修制度を活用できるように、制度周知の充実を図る。
新宿キャンパス	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。新宿キャンパスは学習等支援施設である為、特別学習を中心に行う施設だが、一般学習を実施する本校、分校に在籍生徒が確実に出席できるように、各生徒のスケジュールや学習状況の進捗を教職員が連携してしっかりと管理・把握に努めている。新宿キャンパスは、学習等支援施設の中では最も在籍人数が少なく、少人数、個別対応を中心とした施設である為、配慮を要する生徒に対して丁寧な対応を特に心がけている。	少人数の生徒対応の機会が多い為、生徒個々の状況にできる限りあわせた教材作成の必要性を感じたとの意見が出た。	教職員研修制度を活用できるように、制度周知の充実を図る。
池袋キャンパス	すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。池袋キャンパスは学習等支援施設である	特別学習において基礎学習や学び直しの学習に力を入れている生徒が多く、教職員の研修や研究の機会をもっと多く	教職員研修制度を活用できるように、制度周知の充実を図る。

	<p>為、特別学習を中心に行う施設だが、一般学習を実施する本校、分校に在籍生徒が確実に出席できるように、各生徒のスケジュールや学習状況の進捗を教職員が連携してしっかりと管理・把握に努めている。</p> <p>池袋キャンパスは、関東の学習等支援施設の中では、ベーシッククラスの在籍率が高く特別学習の為、毎日学校に登校する生徒が多い。登校する生徒が多い為、生徒間でのトラブルが起きないように教職員が連携して丁寧な対応を特に心がけている。</p>	<p>増やし、もっと充実した学習内容の提供をしたいとの意見が出た。</p>	
やしま学園高等専修学校	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>やしま学園高等専修学校は同一法人の専修学校である為、教職員間の連携を密に取りながら教育活動を行うことができている。</p>	<p>技能連携校と実施校の教職員間の情報交換や連携を今以上に密にし、技能連携生の一般学習における指導内容がより充実した内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>技能教育施設との情報共有の機会を増やし、指導内容の充実を図る。</p>
美芸学園高等専修学校	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>美芸学園高等専修学校は、少人数の生徒にきめ細やかな技能教育を実施している。</p>	<p>技能連携校と実施校の教職員間の情報交換や連携を今以上に密にし、技能連携生の一般学習における指導内容がより充実した内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>技能教育施設との情報共有の機会を増やし、指導内容の充実を図る。</p>
大阪美容専門学校	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>大阪美容専門学校は、美容師の国家資格の合格を目指す学生が実践的な技能を学ぶ場として教育活動を実施している。</p>	<p>技能連携校と実施校の教職員間の情報交換や連携を今以上に密にし、技能連携生の一般学習における指導内容がより充実した内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>技能教育施設との情報共有の機会を増やし、指導内容の充実を図る。</p>
エコーペットビジネス総合学院	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>エコーペットビジネス総合学院は、ペット・動物に関する専門的な知識と技能を学ぶ場として教育活動を実施している。</p>	<p>技能連携校と実施校の教職員間の情報交換や連携を今以上に密にし、技能連携生の一般学習における指導内容がより充実した内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>技能教育施設との情報共有の機会を増やし、指導内容の充実を図る。</p>
神戸女子洋裁専門学校	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>神戸女子洋裁専門学校は、少人数の生徒にきめ細やかな技能教育を実施している。</p>	<p>技能連携校と実施校の教職員間の情報交換や連携を今以上に密にし、技能連携生の一般学習における指導内容がより充実した内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>技能教育施設との情報共有の機会を増やし、指導内容の充実を図る。</p>
日本高等美容専門学校	<p>多くの項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>日本高等美容専門学校は、美容師の国家資格の合格を目指す学生が実践的な技能を学ぶ場として教育活動を実施している。</p>	<p>数学が苦手な生徒たちの理解力向上の為数学Ⅰのレポート等の改善に関する意見や八洲学園高校の学費の支払い状況などの情報共有についての意見が出た。</p>	<p>技能教育施設との情報共有の機会を増やし、指導内容の充実を図る。</p>
町田みのり高等部	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>町田みのり高等部は同一法人内企業の学校である為、教職員間の連携を密に取りながら教育活動を行うことができている。</p> <p>少人数のクラスできめ細やかな対応を実施している教育施設である。</p>	<p>町田みのり高等部で実施をしている特別支援に関する教育内容や指導内容を八洲学園高校の教職員ともしっかりと共有や情報交換を行い、お互いの教育施設が今以上にしっかりとした教育内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>みのり高等部の教職員との交流を図り、八洲学園高等学校との共同での教育研究や研修を行う。</p>
静岡高等学園	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>静岡高等学園は配慮を要する生徒一人一人にきめ細やかな対応をし、就職や社会での活躍する人材を育成している技能教育施設である。</p>	<p>静岡高等学園は2026年4月より静岡泉洋高等学校を開設する為、静岡高等学園に在籍する生徒は全員、静岡泉洋高等学校に転学をする。</p>	<p>静岡高等学園は2026年4月より静岡泉洋高等学校を開設する為、静岡高等学園に在籍する生徒は全員、静岡泉洋高等学校に転学をする。</p>
三宮みのり高等部	<p>すべての項目において、概ね教育目標は達成できているとの教職員評価であった。</p> <p>三みのり高等部は同一法人内企業の学校である為、教職員間の連携を密に取りながら教育活動を行うことができている。</p> <p>少人数のクラスできめ細やかな対応を実施している教育施設である。</p>	<p>三宮みのり高等部で実施をしている特別支援に関する教育内容や指導内容を八洲学園高校の教職員ともしっかりと共有や情報交換を行い、お互いの教育施設が今以上にしっかりとした教育内容になるようにしたいとの意見が出た。</p>	<p>みのり高等部の教職員との交流を図り、八洲学園高等学校との共同での教育研究や研修を行う。</p>

学校自己評価(学校運営・教育内容に関するもの)

2025年度重点テーマ		自己評価に基づく、自主的・自立的な学校運営改善
目標(ねらい)	当校の教育理念に沿った教育目標を達成するために、学校内外にある資源を組織として活用し、学習活動の成果を検証して、その強みと弱みを明らかにし、学校教育全体の底上げを図る。	

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	改善方策	
学校運営	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っており、その編成・実施の考え方について、教職員間で共通理解できている。	5			
		教育目標・計画	生徒の学力・体力の状況を把握し、それを踏まえた取り組みを心がけている。また、生徒の学習について評価や評定の工夫が行われている。	5	教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間で共通理解ができている。	教務部を中心に教科間の連携を増やし、先ずは、各教科内で研修や、各々の授業見学・授業評価をするなどし、積極的機会を設ける。	
		通信制高校ガイドライン	高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン(文部科学省)に沿った学習指導計画を行っている。	5			
	教職員連携	組織運営	校務分掌や主任制等が適切に機能するなど、学校の明確な運営・責任体制が整備されている。	5	校務分掌や主任制等、学校の明確な運営・責任体制も整備されているが、経験年数の多い教職員を中心に業務の偏りがある。教職員間・教科間の相互理解は、勤務地(キャンパス)が確立していることもあり、難しい面もあるが、ZOOM等のオンラインソフトの使用率が上がり、教職員間の相互理解・信頼関係を積極的に進める環境にもなりつつある。今後、職員会議をはじめ各部会議など、オンライン機器を益々使い、引き続き有効かつ効率よく機能するよう努力する必要がある。	一部の教職員に業務の偏りが発生しない様に、学校組織全体で全教職員のボトムアップの取り組みを行う必要がある。また、可能な限り業務内容をスリム化し、オンライン機器の効率的な活用を中心に全体的な職員会議や分掌会議などに、教職員間の連携・コミュニケーションの充実に努める。	
		教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	5			
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携がとれている。	4			
		会議の有効性	職員会議をはじめ各部会が有効かつ効率的に機能している。	5			
	財務関係	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について定期的に把握できる機会・環境がある。	5			
		財務状況の把握	予算、決算の収支の状況について定期的に把握できる機会・環境がある。	5	学校・学園の経営指標と財務状況について、多くの教職員は理解している。八洲学園の教職員は、原則過去複数年に渡る法人の財務情報(収入、支出、予算、決算)を自由に閲覧、ダウンロードできる環境にある。	教職員に対しては職員会議や学内電子掲示板等で、役員会の報告や予算・決算など法人財務に関する情報公開に努め、一般の方に向けては学園HPでの財務情報の公開による理解を深めるように努める。	
評議員・理事会機能		評議員会、理事会の内容について、定期的に把握できる機会・環境がある。	5				
情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページ等で学則・学校評価・いじめ防止のための基本的な方針などの情報を公開している。学園HPなどで法人財務状況などの情報を公開している。	5	八洲通信やホームページ等で学則を含め必要な情報および定められた内容の最新情報公開をしている。また、保護者や入学希望者、近隣中・高の教職員など、希望があれば積極的に授業公開を行っている。ZOOMを用いたオンラインでの授業公開も行っている。	HP・公開授業ともに今後も積極的に情報公開を実施する。		
	授業公開状況	保護者へスクーリングを公開したり、出席状況等を定期的に報告している。	4				
危機管理	役割分担	事故、事件、災害時に対処する役割を分担されている。	5				
	安全管理	校内の安全点検活動を実施している。	5	危機管理マニュアルの作成を行い、全教職員で定期的な内容確認を実施した	危機管理マニュアルの作成および、防災関連備品の購入、各施設での年1回以上の消防訓練の実施を行い、職員研修としてAED講習や防火管理者資格の取得する。		
	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策がとられている。	5				
教育内容	面接指導・添削指導等	学習指導	スクーリングでは各教員が工夫をし、体験的な学習や問題解決的な学習、生徒の興味関心を生かし、自主的・自発的に学習を進めることができるよう工夫している。 レポートや視聴覚教材などの教材を定期的に見直し、改善を試みている。 面接指導・添削指導・単位認定試験は、認可施設である実施校のみで実施している。	5	スクーリング指導等について、教務部が中心になって指導計画が作成できている。また、生徒の実態に合わせて指導方法の改善を行っている。	教務部を中心に、学習指導内容のよりよいものとなるよう充実を図る。	
		情報教育	情報モラル育成 情報モラル指導 ICT教育設備	4 4 4	オンラインでの学習指導が増えている反面、情報モラルの観点での生徒指導が増えている。生徒の所持している情報機器も多様化している中、生徒間の情報機器を使用したコミュニケーションに伴うトラブルを防ぐ為に情報リテラシー教育にもっと力を入れる必要がある。	学校行事(特別活動)や情報科のスクーリングを中心に啓蒙の取り組みを始める。	
	人権教育	研究体制	人権尊重・いじめ防止に関するさまざまな課題や指導方法を教職員が研究している	4			
		教育体制	社会の一員としての意識(公正、勤労、奉仕、公共心、公徳心や情報モラルなど)について、指導している。 命の大切さや環境の保全などについて指導し、人権尊重やいじめ防止の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	5 4	特別活動を中心に、人権教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	教職員が年間指導計画に沿って目標を達成できるように研修の機会を設ける。	
その他	学校行事	遠足・実習などの学校行事を充実させている。	4				
	部活動	部活動の在り方に関する総合的なガイドラインがあり、ガイドラインに沿った部活動運営がなされている。	4	学校行事・特別活動は、年間スケジュールを立て、行事目的を設定できている。今後、オンラインでの学校行事や特別活動は今後も活用しつつ、充実した内容の企画、計画を検討、実施する必要がある。	引き続き感染症対策の備品補充には注意しつつ、校内、校外での活動計画を積極的に組み立てていく		
	特別活動	計画的に教育活動に取り入れている。	4				
	感染症対策	マスク・消毒液・体温計などの感染症対策に必要な備品が整っている。	5				

学校自己評価(生徒指導・進路指導・支援・教職員研修などに関するもの)

2025年度重点テーマ		自己評価に基づく、自主的・自立的な学校運営改善	
目標(わらい)	教員・教科間の連携状況、会議の有効性、学習指導及びカウンセリング体制についての教職員による自己評価を、学力の向上と除籍防止への寄与の観点から分析を行い、学校の強みと弱みを明らかにして、改善の方策を検討・実施する。教職員の資質向上の観点から、学校運営、教職員の連携、校内外の研修等について自己評価を行い、日常的なOJT(On the Job Training)の活性化を図るとともに、研修体系、指導体制などの充実に努める。		

分類	評価の観点	評価項目	設問	評価	評価の観点と理由	改善方策		
生徒指導・進路指導・支援	生徒指導	指導方針の一貫性	生徒指導は学校の方針に従い、除籍率の減、単位修得率の増を心掛けている。	5	生徒指導については、生徒指導部を中心に組織的に対応する体制はある。しかし、生徒を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等)に関する体制整備や指導・相談できる体制が十分に整っていないことは事実であり、今後も生徒指導部中心に教職員全体で研鑽が必要である。	生徒・保護者との連絡・連携がスムーズに行えるよう定期的な連絡を欠かさないようにする。また、問題事象発生時に複数の教職員で連携して対応できるように、各施設での教職員間の情報共有を徹底し、生徒指導部および管理職への報告も徹底する。		
		生活指導について	生徒の生活指導に、教職員全体として組織的に対応する体制がある。	5				
		家庭との連携状況	保護者と連携計画して情報交換を行い、基本的な生活習慣を身に付けさせる為の工夫ができています。また、保護者会や保護者面談を行い、保護者との連携を充実させている。	5				
		保健管理	生徒を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等)に関する体制整備や指導・相談ができる体制がある。	5				
	進路指導	キャリア教育について	教職員全体として組織的にキャリア教育(進路指導)に取り組み体制が整備されている。また、生徒の適切な勤労観・職業観の形成や、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度の育成のための体系的・系統的な指導ができるよう工夫している。	5			キャリア教育、進路指導において、卒業生の進路未決定者0人を目標としているが、達成はできていない。卒業率が上がってきている状況の中で、進路指導の重要性は今後益々大きくなってきているので、今後積極的に指導内容の改善に取り組む必要がある。支援を要する子ども達が社会的自立をできるようになる為のプログラム作成が必要である。	進学だけでなく就職に関する指導を引き続き充実させていく。支援を要する子ども達に対しては、子どもの特性を可能な限り把握できるよう努め、その子どもに適した進路指導を行う。
	生徒支援	カウンセリング体制	スクールカウンセリングなど、カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。また、中途退学者の生徒を一人でも少なくすることに誠意努力している。	4				
		情報発信	定期的に学校説明会や保護者会を開き、不登校等に関するさまざまな問題の支援と情報提供を行っている。	5				
教職員研修など	教職員研修	資質向上	教員間で校務内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	5	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会は少ないが、研修については概ね計画通り実施した。	教職員研修を積極的に実施できるように制度整備を行った。また、自主的な研修以外に、各分掌やキャンパスなどで集団で行う教育研修も活発に行っている。		
		校外研修	教職員が計画的に校外研修を受けることが出来る体制がある。	5				
		研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	4				
		他校種・関係機関等との連携	全国高等学校通信制教育研究会・私立中学校高等学校連合会等の団体に加盟し、多様化した生徒に応じた通信制教育の改善と充実を図っている。	5				
	管理	光熱水費	学校において環境問題に対応するため、使用する光熱水費や用紙量等の削減について取り組みをしている。	5				
		文書管理	学校において備えなければならない表簿(学校日誌等)は適切に管理(データ化含む)されている。また、諸事務等の情報化が進められている。	5				

		管理職					関東					関西					合計					%											
		A	B	C	D	E	合計	A	B	C	D	E	合計	A	B	C	D	E	合計	A	B	C	D	E	合計	A	B	C	D	E	合計		
学校運営	教育課程	学習指導要領の対応状況	6	0	0	0	0	6	21	3	0	0	0	24	32	5	0	0	0	37	59	8	0	0	0	67	88%	12%	0%	0%	0%	100%	
		教育目標・計画	6	0	0	0	0	6	20	4	0	0	0	24	30	7	0	0	0	37	56	11	0	0	0	67	84%	16%	0%	0%	0%	100%	
		通信制高校ガイドライン	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	35	2	0	0	0	37	64	3	0	0	0	67	96%	4%	0%	0%	0%	100%	
	教職員連携	組織運営	6	0	0	0	0	6	20	4	0	0	0	24	34	3	0	0	0	37	60	7	0	0	0	67	90%	10%	0%	0%	0%	100%	
		教員・教科間連携状況	6	0	0	0	0	6	20	4	0	0	0	24	28	9	0	0	0	37	54	13	0	0	0	67	81%	19%	0%	0%	0%	100%	
		教員と事務職員の連携状況	6	0	0	0	0	6	21	3	0	0	0	24	32	4	1	0	0	37	59	7	1	0	0	67	88%	10%	1%	0%	0%	100%	
	財務関係	会議の有効性	6	0	0	0	0	6	16	6	1	1	0	24	31	5	1	0	0	37	53	11	2	1	0	67	79%	16%	3%	1%	0%	100%	
		財務に関する意識	6	0	0	0	0	6	24	0	0	0	0	24	35	2	0	0	0	37	65	2	0	0	0	67	97%	3%	0%	0%	0%	100%	
		財務状況の把握	6	0	0	0	0	6	24	0	0	0	0	24	37	0	0	0	0	37	67	0	0	0	0	67	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
	情報公開	評議員・理事会機能	6	0	0	0	0	6	16	6	1	1	0	24	27	7	2	1	0	37	49	13	3	2	0	67	73%	19%	4%	3%	0%	100%	
		ホームページの活用状況	6	0	0	0	0	6	24	0	0	0	0	24	33	4	0	0	0	37	63	4	0	0	0	67	94%	6%	0%	0%	0%	100%	
	危機管理	授業公開状況	6	0	0	0	0	6	18	6	0	0	0	24	29	6	1	1	0	37	53	12	1	1	0	67	79%	18%	1%	1%	0%	100%	
		役割分担	6	0	0	0	0	6	19	5	0	0	0	24	33	4	0	0	0	37	58	9	0	0	0	67	87%	13%	0%	0%	0%	100%	
		安全管理	6	0	0	0	0	6	13	11	0	0	0	24	31	6	0	0	0	37	50	17	0	0	0	67	75%	25%	0%	0%	0%	100%	
	教育内容	面接指導 添削指導等	危機管理対応状況	6	0	0	0	6	17	6	1	0	0	24	33	4	0	0	0	37	56	10	1	0	0	67	84%	15%	1%	0%	0%	100%	
学習指導			6	0	0	0	0	6	21	3	0	0	0	24	31	4	2	0	0	37	58	7	2	0	0	67	87%	10%	3%	0%	0%	100%	
情報教育			6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	34	3	0	0	0	37	63	4	0	0	0	67	94%	6%	0%	0%	0%	100%	
情報教育		情報能力育成	6	0	0	0	0	6	19	5	0	0	0	24	24	13	0	0	0	37	49	18	0	0	0	67	73%	27%	0%	0%	0%	100%	
		情報モラル指導	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	29	8	0	0	0	37	58	9	0	0	0	67	87%	13%	0%	0%	0%	100%	
		ICT教育設備	6	0	0	0	0	6	14	10	0	0	0	24	26	10	1	0	0	37	46	20	1	0	0	67	69%	30%	1%	0%	0%	100%	
人権教育		研究体制	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	28	9	0	0	0	37	57	10	0	0	0	67	85%	15%	0%	0%	0%	100%	
		教育体制	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	29	7	1	0	0	37	58	8	1	0	0	67	87%	12%	1%	0%	0%	100%	
その他		教育体制	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	30	6	1	0	0	37	59	7	1	0	0	67	88%	10%	1%	0%	0%	100%	
		学校行事	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	36	1	0	0	0	37	65	2	0	0	0	67	97%	3%	0%	0%	0%	100%	
		部活動	6	0	0	0	0	6	21	3	0	0	0	24	28	5	3	1	0	37	55	8	3	1	0	67	82%	12%	4%	1%	0%	100%	
進路指導		生徒指導	特別活動	6	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	36	1	0	0	0	37	65	2	0	0	0	67	97%	3%	0%	0%	0%	100%	
			感染症対策	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	35	2	0	0	0	37	64	3	0	0	0	67	96%	4%	0%	0%	0%	100%
			指導方針の一貫性	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	34	3	0	0	0	37	63	4	0	0	0	67	94%	6%	0%	0%	0%	100%
		進路指導	生活指導について	6	0	0	0	0	6	23	1	0	0	0	24	30	7	0	0	0	37	59	8	0	0	0	67	88%	12%	0%	0%	0%	100%
	家庭との連携状況		6	0	0	0	0	6	21	3	0	0	0	24	28	9	0	0	0	37	55	12	0	0	0	67	82%	18%	0%	0%	0%	100%	
	保健管理		6	0	0	0	0	6	20	4	0	0	0	24	29	8	0	0	0	37	55	12	0	0	0	67	82%	18%	0%	0%	0%	100%	
	生徒支援	キャリア教育について	6	0	0	0	0	6	24	0	0	0	0	24	28	9	0	0	0	37	58	9	0	0	0	67	87%	13%	0%	0%	0%	100%	
		カウンセリング体制	6	0	0	0	0	6	22	2	0	0	0	24	34	3	0	0	0	37	62	5	0	0	0	67	93%	7%	0%	0%	0%	100%	
	教職員研修など	教職員研修	情報発信	6	0	0	0	6	21	3	0	0	0	24	18	14	4	1	0	37	45	17	4	1	0	67	67%	25%	6%	1%	0%	100%	
			資質向上	6	0	0	0	0	6	17	5	2	0	0	24	20	14	3	0	0	37	43	19	5	0	0	67	64%	28%	7%	0%	0%	100%
			校外研修	6	0	0	0	0	6	18	6	0	0	0	24	29	7	1	0	0	37	53	13	1	0	0	67	79%	19%	1%	0%	0%	100%
			研修成果の共有状況	6	0	0	0	0	6	16	6	2	0	0	24	25	10	2	0	0	37	47	16	4	0	0	67	70%	24%	6%	0%	0%	100%
		管理	他校種・関係機関等との連携	6	0	0	0	0	6	22	2	0	0	0	24	34	3	0	0	0	37	62	5	0	0	0	67	93%	7%	0%	0%	0%	100%
			光熱水費	6	0	0	0	0	6	20	4	0	0	0	24	24	10	3	0	0	37	50	14	3	0	0	67	75%	21%	4%	0%	0%	100%
			文書管理	6	0	0	0	0	6	22	2	0	0	0	24	37	0	0	0	0	37	65	2	0	0	0	67	97%	3%	0%	0%	0%	100%

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 堺本校在校生保護者

※個人情報の為、HP掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年 5月 1日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

友達も多く毎日楽しく登校していた息子でしたが、小学校3年生の3学期から朝に腹痛を訴え休みがちになりました。病院に行っても原因が分からず、4年生になってからはクラスにも入ることができず、今思えば、この頃から学校生活への違和感を覚えていたようです。当時の小学校は、まだ不登校に対しての理解が乏しく、強烈な学校不信へとつながり、先生との関わりも一切拒否してしまいました。5年生で支援学級の先生との出会いがあり、少なからず心は開きましたが、学校が大嫌いな思いは消えず、放課後に別室登校するのが精一杯で、学校生活や行事の思い出も何もない4～6年生を過ごしました。

不登校のまま迎えた中学校入学式は出席することができず、登校がないまま2年生まで過ごしていました。このまま3年間、中学校には行かないだろうと思っていましたが、3年生になる直前、急に「修学旅行に行きたい！そのために始業式から学校へ行く！」と言い、初めてだらけの中学校の学校生活に戸惑いもあったようですが、楽しく登校していました。修学旅行、体育大会、合唱コンクールといった中学校の三大大行事に参加することができ、通信制高校への進学も考えるようになりました。

高校を選ぶにあたり、学校説明会に何度も足を運び、文化祭にも参加しました。その時の先生方や先輩方の温かい雰囲気惹かれ、八洲学園高校への進学を決めました。

入学前のトライアル登校で「友達ができた～！」と言い、入学式までの間も毎日遊びに行くほど仲良くなりました。入学してからの学校生活も順調で楽しそうに登校をしています。先生と生徒の距離も近く、体育祭や文化祭といった様々な行事も生徒主体で運営しているのがよく分かります。息子が在籍しているベーシッククラスには、中学校からの学びなおしや専門学習、キャリア学習などの多彩な授業、また学校行事もたくさんあり、高校生活を満喫しています。

高校1年生の時には、中学生に向けた在校生インタビューで在校生代表として話をする機会を与えていただき、同じような境遇を持っている中学生の子達に学校生活の様子や学校の魅力をアピールすることができ、とても良い経験をさせてもらえたと感じています。高校生活が3年では足りない程、もっと楽しんで欲しいというのが親子の本音です。あと残り1年ですが、悔いのないよう学校生活を楽しんでもらいたいです。

また、2学年下の弟が同じ八洲学園高校のベーシッククラスを選びました。兄の話聞いて、高校生活楽しそう！と思ったそうです。

いつもありがとうございます。

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 大阪中央校在校生保護者
※個人情報の為、HP 掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年 5月 2日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

小学校高学年ごろから友人関係に悩むようになり、中学校では入学後まもなく抑圧的な指導を受けたことをきっかけに、その後3年間、完全不登校となりました。

不登校になったことで自信を失い、引きこもりがちになり、なかなか一步を踏み出すことができない状態でした。

中学校3年生で進路を考える時期に、私が通信制高校の合同説明会に誘い一緒に参加しました。

そこで娘は通信制高校について知り、自分にも可能性があるのではないかと希望が持てたようでした。

その後、志望校を2校に絞り、見学や説明会に参加した中で、八洲学園高等学校が自分のペースや目的に合っていると感じ、進学を決めました。

進学を決めてからは、受験に向けて努力し、それまで引きこもりがちだった娘も、自分で調べたり、行動したりしながら、無事に合格することができました。

入学後は、まず自分のペースで通学し、生活リズムを整えることから始めました。少しずつ友人もでき、無理のない環境の中で自信を取り戻していったように感じます。

友人に誘われて芸術祭の実行委員にも挑戦し、最後まで責任を持って役割を果たすことができました。

現在は2年生となり、マイスタイルからベーシッククラスに変更して、より意欲的に学校生活に取り組んでいます。

保護者として感じる大きな変化は、以前より明るくなり、表情や言動にも前向きさが見られるようになったことです。

以前は人と目を合わせて話すことが難しかった娘が、今では自然にコミュニケーションが取れるようになり、難しそうなことや不安のあることにも、一歩ずつ挑戦しようとする姿勢がみられるようになりました。

この学校は、娘のペースを大切にしながら無理なく通える環境であり、また先生方が丁寧に相談に乗り、アドバイスをしてくださる点に、大きな安心感があります。

娘が安心して前に進める環境を整えてくださっていることに、心より感謝しております。

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 横浜分校在校生保護者
※個人情報の為、HP 掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年4月20日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

中学校での3年間、息子のペースを大切にしてくれる環境に恵まれ、大きな成長を感じることができました。そのため高校選びにおいても息子に合う環境を選べば必ず伸びると思いました。通信制合同説明会で八洲と出会い、丁寧な説明やじっくり学べる5年制クラスに惹かれました。学校見学へ行った後、「雰囲気良かった、楽しそう」と本人が決めて入学しました。入学後は趣味や関心の近い友人に恵まれ、選択授業やクラブ活動では学年を超えた交流を通じて、すぐに打ち解けることができたようです。

「八洲に入学して良かった、休まず通いたい」とモチベーションも高く、高校生活を楽しんでいます。学習面ではコツコツと課題をこなすタイプで、レポート、メディア学習、スクーリングなどに計画的に取り組む力が身につき、着実にステップアップしています。

先生方はフレンドリーで話しやすく、グループワークやイベントなどでリーダーを任せていただく機会もありました。適切なフォローをいただきながら経験を積み重ねていくことで、本人の自信と強みに繋がったと感じています。

親とは異なる視点から息子の持ち味を引き出してくださり、新たな一面を知ることができました。また5年制クラスからベーシッククラスへの変更にも迷っている際も、本人の気持ちを尊重し、寄り添っていただきました。

授業参観や面談、イベントやセミナーを通じて親が学校生活を知る機会も多く、先生方との対話は大変貴重な時間です。

“子供を真ん中に”、という先生方の温かい支援やサポートのおかげでどの子もみんな輝ける学校だと思えます。

いつもありがとうございます。

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 梅田キャンパス在校生保護者

※個人情報の為、HP 掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年4月27日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

娘が八洲学園高等学校を選んだきっかけは兄が在籍していたこともあり安心感があったことです。娘は中学生の時に起立性調節障害を発症し、朝起きることが辛くしんどくなり中学校への登校ができませんでした。三宮キャンパスの中等部（フリースクール）に登録し、フリースクールに登校できるようになっていきましたが、八洲学園高等学校の先生方が不登校生に対してとても手厚く対応してくださり、また人間関係も見てくださいましたのでこの点においても八洲学園高等学校に安心感をもつことができました。さらに八洲学園高等学校が学校法人立であることも、安心感をもった理由の1つです。学校法人立は株式会社立とは異なり教育内容が充実している、教育環境がきちんとしているという私たちの考えに一致している学校だと思っています。

兄の場合は八洲学園高等学校に入学後、不得意だった人付き合いや他者とのコミュニケーションが上手に取れるようになりました。娘は周囲に対して人一倍気を遣う性格で、中学校までは周囲に気かけないといけない環境でしんどい思いもしてきましたが、八洲学園高等学校に入学してからは、他者との距離感や気の遣い方を学び、自分自身の事を考えたり、過度に周囲への気遣いをせずに自分のことに集中できるようになったことが入学して良かったことだと思っています。

時々、梅田キャンパスに行くことがあります。その際に先生は私たち保護者に対しても名前や顔を覚えて話し掛けてくださいます。他の生徒さんも笑顔で先生たちと話しているのを見ると、とても嬉しくなります。今は起立性調節障害や体調不良であまり通えていませんが、今のペースで見守っていきたいと思います。

生徒たちがのびのびと学習に集中できるように細かく評価の観点等を設定しており、評価項目の設定はや評価は適切であると思います。評価結果の内容は概ね適切であると思いますし、改善が必要な場合はその都度、対応を考えて進めてくださっていると感じています。

SNS、アプリの活用で保護者に生徒の様子が伝わり、保護者への理解へと繋がっています。

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 三宮キャンパス在校生保護者

※個人情報の為、HP 掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年 4月 25日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

娘は小学校低学年の頃に発達障害のグレーゾーンであることがわかりました。高学年になるにつれ仲間外れや友人とのトラブルが増え、非常に苦しい時期を過ごしました。年齢が増すごとに、いじめが陰湿になり、友人のついた嘘を担任に信じ込まれ一方的に責められるという出来事がありました。後に担任から謝罪はありましたが、負った傷は深く人に対して距離を置くようになりました。

前高校を一年生の時にパニック障害、拒食症、不眠症になり退学しました。それ以降、娘は人が信じられない。学校は怖い場所と完全に心を閉ざしました。通院時しか外出できない日々が何カ月か続き当時の私は、この先どうなるのかと最悪なことまで考えてしまうほど追い詰められていました。そんな時に、知人の勧めで八洲学園を知りました。本人も高校だけは卒業したいと焦る気持ちがあり、個人面談をお願いしました。以前は家族以外の人、医師とも会話ができないほど心を閉ざしていたのに、「この学校に行きたい」と自ら前向きな言葉を口にしました。暖かい雰囲気のある学校と感じたのだと思います。入学当初は友達作りや学習面の不安でいっぱいでした。初めての電車通学で緊張の連続だったようですが、あたたかい友人関係に恵まれスクーリングで大阪にも行けて、放課後は友人たちと寄り道もできるようになりました。学習面ではレポートに自ら向き合い分からないところは友人や先生に質問できるようになった姿に成長を感じます。

主治医からは、「学校が家以外に安心できる場所になっている」と言われるほど、今の環境が娘の支えになっています。あんなに大人を怖がっていた娘が先生と笑顔で話し、学年の垣根を越えて接してくださった先輩方や友人と出かけたり、楽しそうに長電話ができるまでに変わりました。娘だけではなく私の気持ちのサポートもしていただいたと感じております。

学校の環境と先生方のご指導と友人皆さまのおかげで親子共に長い暗闇から救い出していただき感謝しかありません。ありがとうございます。

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 新宿キャンパス在校生保護者

※個人情報の為、HP掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年 5月 7日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

小学校高学年から中学時代にかけて、午前中の登校が困難な時期が続き、学業の遅れや周囲との関係に親子で不安を抱える日々がありました。本人が安心して再スタートを切れる環境を模索する中で出会ったのが貴校でした。見学時から本人が「ここなら大丈夫そう」と感じており、その気持ちを尊重して入学を決めましたが、その選択は間違っていなかったと確信しております。

入学後、何より驚いたのは、以前頻繁に訴えていた頭痛や腹痛が劇的に減り、午前中から元気に登校できるようになったことです。少人数制で先生方の目が届きやすく、学習面でのつまずきや生徒同士の些細な悩みもすぐに相談できる環境があることが、本人の大きな安心感に繋がっています。

また、1年次から進路を意識したカリキュラムや資格取得のサポートがある点、そして部活動での大会参加など、以前の状況からは想像もできなかったほど得難い経験をさせていただけることに深く感謝しております。

一方で、これほど手厚く安心できる環境だからこそ、卒業後に一般社会や大学という大きな環境の変化に直面した際、本人がそのギャップに適應できるかという点は、入学当初から変わらぬ懸念事項でもあります。現在の安定した学校生活が「八洲学園の特別なサポートがあつてこそ」であることを親子共々常に意識し、今後は卒業後を見据えた自立や適應力をどのように養っていくべきか、折に触れて先生方にご相談させていただけますと幸いです。

2025年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価（保護者）

学校関係者（保護者）

保護者氏名（ふりがな） 池袋キャンパス在校生保護者

※個人情報の為、HP 掲載時は匿名で掲載します。

評価日時：2026年4月25日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

息子は、中学入学時は、自己肯定感が低く、何をしてもその場から逃げて、その行為をする自分を責めていました。中学二年生になる頃には、当時の先生方のおかげで、だいぶ立ち直ることができました。本人が中学校卒業後のイメージができるようになったため、八洲学園高等学校池袋キャンパスに相談にうかがいました。対応して下さった八洲学園の先生は保護者の話をしっかり聞いてくださり、本人には優しく温かな雰囲気でも語りかけて下さったのが印象的でした。入学前に何度も体験の場を設けてくださることで、入学後に一日でも早く慣れて自分のペースをつかめたことが大変ありがたかったです。中学時代は全ての学習に取り組むことが難しかったのですが、高校では全日スタイルのベーシッククラスで基礎学習から学び直しができること、自分のペースで学習を進められることは息子に合っているため、無理なく過ごせて自信につながっていると思います。毎朝学校に到着すると、オープンになっている職員室から「おはよう」と先生方が迎えてくださるのが嬉しいと言っています。先生方が、学習面のサポートだけでなく、気持ちに寄り添ってコミュニケーションをとってくださるので、安心して通学できていると感じています。

息子のイキイキした表情を見ると、八洲学園高等学校に入学することができて良かったと心より思います。先生方、毎日ご指導いただきましてありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	八洲学園高等専修学校
記載者名（役職）	國和佳浩
記載日	2026 年 4 月 3 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	適切に実施された 面接指導に関して教員免許を所持している教員が行った

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	高校の指導の下、適切に実施された。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	高校の指導の下、適切に実施された。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	適切に実施

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	適切に実施された

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	高校の指導の下、連携し適切に実施された。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	内容を報告し適切に実施された

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	学費の納入案内について区別されている

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

--

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	美芸学園高等専修学校
記載者名（役職）	脇威雄（教務主任）
記載日	2026年3月31日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとにA～Eで評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	面接指導（スクーリング）は、適切に実施されました。 また、面接指導を担当された先生は、適切な教員免許を所持されていました。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	添削指導（レポート）は、適切に実施されました。 設問形式も多様で、充実していました。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	単位認定試験は、適切に実施いたしました。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	特別活動は、年間計画の通り適切に実施いたしました。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	担当者同士の連絡・情報交換は十分に行うことができました。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	生徒状況に関する情報交換は、概ね連携が取れていました。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	技能連携科目については、年間授業計画・授業日誌・定期試験・成績の提出および報告により、単位認定に向けて適切に実施いたしました。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	八洲学園高等学校の学費は、本校の学費納入と混同することなく、適切に納入等の手続きが行われました。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

いつも丁寧にご対応くださり、ありがとうございます。 今後ともよろしく願いいたします。

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	大阪美容専門学校
記載者名（役職）	吾妻律子
記載日	2026 年 4 月 6 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	指導担当教員は教員免許を所持し学習指導に基づき授業を実施。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	学習指導及び学習指導内容は適切に実施されていた。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	学習指導および試験対策授業を実施し単位認定試験を実施。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	充実した内容でわかりやすく実施。

2、2025 年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	定期的に運営、指導内容など双方で確認し実施している。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	情報交換、確認のもと連携。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	適切に実施されていた。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	わかりやすく説明され納入されていた。

⑨その他

2025 年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

急な案件にも丁寧にサポートしていただき、教員間での連携がしっかりしているので対応が早い。
--

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	エコーペット高等学院
記載者名（役職）	野澤 明日翔 （教頭）
記載日	2026 年 4 月 6 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	実施回数に問題ございません。 また、教員免許につきましても八洲学園様よりご確認をさせていただいております。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	学習指導要領に基づいたスクーリングの実施をしていただきました。 また、レポートについては記述式の問題もあり、生徒が意欲的に取り組んでいました。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	問題なく試験の実施をしていただいております。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	必要単位数に沿って、適切に実施してございました。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	質問事項は八洲学園様へ確認を取らせていただき、生徒に安心してスクーリングや試験を実施してもらうことができました。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	欠席の有無や日常の様子などを含め、八洲学園の先生方と生徒情報の共有をさせていただきました。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	わかりやすく、例年通りの単位認定をしていただきました。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	保護者の方へのご説明も含め、安心して学校に通っていただける手続きを行っていただきました。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

今後とも引き続き八洲学園様と良好な関係で、技能連携をさせていただきたく感じております。

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	神戸女子洋裁専門学校
記載者名（役職）	学校長 中川 眞知子
記載日	2026 年 4 月 1 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	少人数制の学校ならではの生徒達の興味関心に合わせた授業展開をして頂けるので、生徒達もスクーリングの授業をととても楽しみにしておりますし、熱心に授業を受けられています。保護者からも好評です。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	教科書を一通り学習した後、学習ポイントを押さえながら、知識が定着できるよう工夫されている。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	スクーリング、レポート学習の総復習として試験対策プリントが用意され、単位認定試験に向けて、学びの定着がはかれるように工夫されている。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	学内、学外での学びとして、専門分野、生徒達の興味関心に合わせながら実施されている。探求の授業の成果として、まちづくりアイデアコンテストに参加したり、各種コンテストにも積極的に参加させた。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	生徒達の興味関心に合わせた授業内容。スクーリングの日程についても1年生は夏の制服が完成した後で実施して頂くなど、技能教育に配慮しながら調整して頂けている。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	学習状況の共有や、就職先や進学先への提出書類の準備など、情報共有と連携をスムーズに行うことができている。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	技能教育の学習状況、成績報告等、情報共有と打ち合わせをスムーズに行っている。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	八洲学園高等学校の振込用紙を準備して頂けるおかげで、保護者の負担も少なく、スムーズな納入に繋がっている。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

技能教育を受けながら、同時に高校卒業資格を目指すことができるのも、生徒達がスムーズに学習を進められるよう細やかなサポートをして頂けているおかげです。事務手続きでも、急に就職先や進学先に提出しなければならない書類もすぐに対応して頂けたり、スムーズな対応で生徒も保護者も助かっています。

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	BEAUTY ARTS KOBE 日本高等美容専門学校
記載者名（役職）	月岡 昇（学科主任）
記載日	2026 年 3 月 30 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	回数、教員免許とも特に問題はありません。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
C	毎年、数学 I の担当教員が変更になり、教員によつての指導格差があった。数学 I は特に生徒の理解が不十分な科目であり、できる限り教員格差はないのが望ましい。レポートの内容、実施回数は特に問題ありません。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	特に問題ありません。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	特に問題ありません。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	特に問題ありません。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
C	特に、スクーリング不足、レポート不合格の生徒の情報が例年に比べて遅かったため、処理が遅れた。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
B	特に問題ありません。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
B	引き続き、学費未納の生徒状況の共有が必要。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

昨年同様です。本校の授業内容がレポート中心であるため、単位認定試験もレポートに即した内容であると指導がしやすい。また、追試験は単位認定試験と同問題ではなく、単位認定試験の類題で作成していただけるとありがたい。
--

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	町田みのり高等部
記載者名（役職）	植木真也（主任）
記載日	2026 年 3 月 25 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	各教科担当者が教科書や PC を活用しながら工夫した授業をおこない、熱心に指導してくださりました。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	実施回数は学習指導要領に沿った回数でした。設問についても、考えて解答する記述式もあり、学びにつながる内容でした。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	単位認定試験の実施は、面接指導と添削指導が終了後に実施していました。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	定期的な行事やガイダンス、キャリア学習をおこない、有意義な特別活動を実施していた。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	教科指導内容など年度初めに情報交換し、その後もメールや電話にて連絡を取り合いながら、運営や教科指導に関する情報交換をおこなった。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	生徒情報については、定期的に学習状況を報告し、問題事象については都度報告できていた。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	技能教育科目は、既定時間数の授業を実施し、試験をおこない、実施した内容を報告したものを単位認定していただいた。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	学費については、振込先を分けてそれぞれの学費を振込いただいた。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

今後ともよろしく願いいたします。

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	静岡高等学園
記載者名（役職）	学園長 進士 友紀子
記載日	2026 年 3 月 26 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	教員免許所持教員が、規定回数よりも多くスクーリングを実施しています。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけでなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	教員免許所持教員が、既定回数よりも多く、合格に達するまで指導しています。 設問は記述式も含まれた内容で構成され、その指導も適切に実施しました。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	面接指導の完了、レポート合格を確認後、試験を実施しています。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	ボランティア活動や作物の収穫体験、文化祭、スポーツ大会、親睦会などを実施しています。 地域の特性にあわせて、避難訓練や防災教育も実施しています。市と連携し、選挙やお茶の入れ方等の出前講座も行いました。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	習得する単位数、教科・科目の確認や、それらの学習の進捗状況等を連絡・相談しています。転入・編入学への対応も適切かつ円滑に行われ、個別の教育課程を作成していただくなど、十分な連携がとれています。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	学習状況の連絡・相談のほか、進路についての情報共有、連携を図っています。進路活動において必要な書類の記載方法等についても適切にご指導をいただいています。また、書類発行においては、至急の対応にも応えていただいております、生徒の進学・就職等にご協力をいただいています。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	学習の進捗、試験の実施と試験結果の報告等を行い、単位認定が適切に実施されています。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	入学時のオリエンテーションで説明するとともに、毎年の学費納入時期に文書を添えながら必要な説明を実施しています。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

--

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025 年度 八洲学園高等学校 学校関係者評価

学校関係者

技能教育施設名	三宮みのり高等部
記載者名（役職）	吉田 梨紗（主任）
記載日	2025 年 3 月 27 日

【2025 年度八洲学園高等学校の評価】

※以下項目ごとに A～E で評価し、評価内容をコメントください。

A：よくあてはまる、B：あてはまる、C：ややあてはまる、D：あまりあてはまらない、E：まったくあてはまらない

1、2025 年度 八洲学園高等学校の学習指導について

①面接指導（スクーリング）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また面接指導を担当した教員は、担当科目に応じた適切な教員免許を所持していた。

評価	コメント
A	教員免許（当該科目）を所持した教員が適切に実施していた。

②添削指導（レポート）の学習指導内容および実施回数は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。また、設問は択一式だけではなく記述式も含まれた内容で構成されていた。

評価	コメント
A	記述式回答部分が組み込まれており、添削指導は適切に実施していた。

③単位認定試験の実施は面接指導、添削指導後に適切に実施されていた。

評価	コメント
A	試験はスクーリング、レポート添削後に実施していた。

④特別活動は学習指導要領に沿って適切に実施されていた。

評価	コメント
A	適切に実施していた。

2、2025年度 技能教育施設と八洲学園高等学校の連携状況について

⑤八洲学園高等学校の技能教育施設担当者と技能教育施設担当者間で、学校運営および教科・科目等指導内容等において連絡および情報交換について、定期的な連絡交換や情報交換、打ち合わせ等を実施できていた。

評価	コメント
A	定期的に情報交換を行っていた。

⑥八洲学園高等学校と技能教育施設間で生徒情報（学習状況、問題事象、進路相談事象などの情報）の交換および連携が取れていた。

評価	コメント
A	生徒情報の連携は随時取っていた。

⑦技能教育科目において技能教育施設が認定した内容の報告および八洲学園高等学校での単位認定については適切に実施された。

評価	コメント
A	適切に実施していた。

⑧技能教育施設に在籍する生徒に対し、八洲学園高等学校の学費は技能教育施設の学費と混同することなく説明され、八洲学園高等学校の学費は八洲学園高等学校において適切に納入等の手続きが行われた。

評価	コメント
A	学費は適切に説明を行い、納入手続きまで実施できた。

⑨その他

2025年度の技能教育施設における八洲学園高等学校の教育運営内容についてご意見がありましたら自由に記載ください。

特記事項なし。

以上です。ご協力ありがとうございます。

2025年度 八洲学園高等学校 第三者評価

第三者評価

氏名（ふりがな）

林 尻 悟（はやしじり さとる）

経歴 社会福祉士/公認心理師/臨床発達心理士/介護福祉士

一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 共同代表(代表理事)

評価日時：2026年4月24日

【2025年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

【講評】

2025年度自己評価報告書を踏まえ、八洲学園高等学校における教育活動および学校運営の状況を確認しました。同校は、「生徒一人ひとりの歩みに寄り添う学校」という理念のもと、日々の教育実践を着実に積み重ねており、その背景には、教職員および運営法人による継続的で丁寧な取組があることがうかがえます。多様な教育ニーズに応えながら学校運営を維持・発展させている点に対し、敬意を表します。

教育課程の編成・実施においては、学習指導要領および高等学校通信教育ガイドラインに準拠した年間指導計画が整備され、教職員間での共通理解を図る体制が構築されています。スクーリングでは、生徒の実態に応じた体験的・問題解決的な学習が展開されており、教務部を中心とした継続的な見直しも確認されました。日々の授業づくりに真摯に向き合う教職員の積み重ねが、こうした実践を支えているものと考えられます。今後は、授業実践に関する成果や課題の共有をさらに進め、学校全体での指導力向上へとつなげていくことが望まれます。

組織運営では、オンラインツール（Zoom等）を活用し、複数キャンパス間の情報共有と連携強化が図られています。物理的な距離を越えた運営体制の維持には、日々の調整や工夫が不可欠であり、その継続的な取組が安定した学校運営につながっているものと受け止められます。財務情報の公開や危機管理体制の整備など、透明性および安全性の確保に向けた対応も適切に進められています。一方で、一部教職員への業務集中が課題として認識されており、現場の負担軽減の観点からも、業務の可視化や役割分担の見直し、ICTの活用による効率化を進めていくことが求められます。

生徒指導については、生徒指導部を中心とした組織的な支援体制が整えられ、保護者との連絡・連携も継続的に実施されています。生徒一人ひとりの変化を丁寧に捉え、家庭と情報共有を図りながら支援につなげている実践からは、生徒に寄り添う姿勢がうかがえます。こうした日常的な関わりは、教職員のきめ細やかな配慮と継続的な努力に支えられているものと考えられます。カウンセリング体制についても、中途退学の防止に向けた取組が続けられており、今後は専門職との連携強化や支援の多様化を通じた体制の充実が望まれます。

進路指導においては、「進路未決定者ゼロ」という明確な目標のもと、生徒一人ひとりの特性や状況に応じた個別支援が行われています。生徒の将来に向き合い続ける教職員の関わりが、この取組の基盤となっているものといえます。丁寧な支援体制は評価に値し、進路実績の分析や支援方法の整理を進めることで、さらなる充実が期待されます。

情報教育では、オンライン学習の拡大に伴う情報モラルの課題に対し、授業や学校行事を通じた啓発活動が行われており、適切な対応が図られています。人権教育およびいじめ防止についても、特別活動等を通じて継続的に取り組まれており、生徒の意識形成に寄与している状況がうかがえます。これらの取組は、日々の教育活動の中で粘り強く積み重ねられてきたものであり、教職員の継続的な関わりによる成果といえます。今後は、取組の効果を検証しながら、より実践的な指導へとつなげていくことが重要です。

教職員研修については、計画的な実施体制のもと、校外研修への参加および成果共有の仕組みが整えられています。外部団体との連携を通じ、多様な生徒理解や専門性向上に取り組む姿勢も確認されました。日々の業務と並行しながら研修に取り組んでいる点は、教職員の意識の高さと努力を示すものといえます。校内における授業研究や意見交換の機会を充実させることで、実践のさらなる深化につながることを期待されます。

【総括】

本自己評価は、学校の強みと課題が適切に整理されており、自己点検・改善に対する誠実な姿勢が示されています。特に、生徒一人ひとりに寄り添う教育実践と組織的な支援体制は、教職員および運営法人の継続的な取組によって支えられている同校の大きな強みです。一方で、業務体制の見直しや教育実践の共有・体系化など、今後取り組むべき課題も明確となっています。これらに着実に対応していくことにより、学校としての教育力のさらなる向上が見込まれます。

日々の教育活動および学校運営を支えている教職員ならびに関係者の尽力に対し敬意を表するとともに、今後も、生徒・保護者・地域との連携のもと、生徒が自らの可能性を広げながら成長していく教育の推進が図られていくことを願います。